

とりもどせ国家の誇りと日本のくらし

— 維新の道・新風の進む道

代表 魚谷哲央



維新の道・新風は本年十二月、結党二十二年を迎えることとなります。

戦後体制の打破を堂々と掲げる我々の政党——維新の道をつくらうとの趣旨で『有志懇話会』が平成四年春に関西で発足。そして全国各地へと拡大して『有志懇話会地方連合』へと発展して二年半、様々な困難を乗り越えて平成七年十二月九日の結党大会へと漕ぎ着けることができました。

当初半信半疑であった多くの仲間も段々と組織形態が具体化して行く過程の中で結党が確信へと変化して連帯感も高揚し、側面からの多様な支援も戴いての結党でありました。そして不肖魚谷が初代代表に選出されました。

結党大会では、当面は地方選挙に挑戦して地力をつけてから国政選挙へと方針が採択されましたが、翌年十一月の参党大会において平成十年の参

平成29年8・9月合併号(247号)
(皇紀2677年) 毎月1日発行

新風

編集人 瀬戸 開

発行人 魚谷哲央
年間購読料 2,000円

維新の道・新風本部
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下ル
第2ふじビル4階
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800
<http://shimpu.jp.org/>
otayori@shimpu.jp.org

維新の道・新風は本年十二月、結党二十二年を迎えることとなります。

戦後体制の打破を堂々と掲げる我々の政党——維新の道をつくらうとの趣旨で『有志懇話会』が平成四年春に関西で発足。そして全国各地へと拡大して『有志懇話会地方連合』へと発展して二年半、様々な困難を乗り越えて平成七年十二月九日の結党大会へと漕ぎ着けることができました。

当初半信半疑であった多くの仲間も段々と組織形態が具体化して行く過程の中で結党が確信へと変化して連帯感も高揚し、側面からの多様な支援も戴いての結党でありました。そして不肖魚谷が初代代表に選出されました。

結党大会では、当面は地方選挙に挑戦して地力をつけてから国政選挙へと方針が採択されましたが、翌年十一月の参党大会において平成十年の参

議院選挙比例代表に確認団体として挑戦するのの方針変更を提案し、討議の結果、方針変更が承認されて一気に入成十年への準備活動を始めた。以後、政党要件獲得を目標に平成十年・十三年・十六年・十九年と参議院選挙比例代表に候補者十名を擁立し確認団体として参戦し続け、党勢も拡大を続けて地方本部数は四十弱となつてをりました。予定通りには票は伸びてはをりませんが、後退することなく漸進して平成十九年には比例代表・選挙区計三十万票得票に至りました。この間、地方選挙にも挑戦し続け、地方議員の登録者は二十名弱となつてをりました。

一方、自民党政権は橋本・小淵・麻生・第一次安倍政権へと交代しながらも基本的に政治状況に大きな変容はなく、戦後体制下(現行占領憲法+日米安保条約体制)での小政治に終始し続けてをり、わが党は戦後体制に真つ向から挑戦する唯一の改憲政党として参議院選挙に挑戦し続けたのです。

社会面では、平成十年頃携帯電話の普及が始まり、メールやインターネットが急速に普及する社会状況の中で選挙戦においてもその活用が避けられない情報空間の出現を目の当たりにして来ました。

しかし、平成二十二年の参議院選挙直前に資金計画が頓挫して出馬を断念せざるを得ず(その責任をとつて私は代

表を辞任)、続いて平成二十五年も比例代表への挑戦は叶はず関東三選挙区のみ出馬とならざるを得ませんでした(その頃から韓国・中共側の歴史戦が露骨となる)。

そして、現在に至るこの五年弱、政治情勢は第二次安倍政権下大きな変貌を遂げています。中共はわが国を追い抜いて世界第二位の経済大国となり、それに伴つてわが国の領土領海に対する野心を露骨に示して軍事的恫喝を行ひ始め、犯罪国家北朝鮮も金正恩体制下、核開発を進めて軍事的暴発の可能性も増大してをり、拉致犯罪は無視されてをります。韓国は虚偽の慰安婦問題などの歴史戦を中共と共に世界展開し続け、米国はオバマ政権から今日のトランプ政権下、国際社会における政治・軍事的影響力を後退させ続けをります。イスラム過激派による国際的テロの激発やEUにおける移民問題等、国際社会は不透明さ・不安定さを増してをります。

今上天皇の一年前のお言葉に端を発して、この六月には御譲位特例法が決定され、喫緊の国の基本問題として高齢化社会における皇位継承問題が浮上して来ました。皇位継承といふ国の根本問題においても戦後価値観からの安易な対応しか為されない憂慮すべき事態も現出してをります。

そしてわが国の少子化、人口減傾向が産業界・地方自治体・社会保障制度などにおいても深刻な課題となりつつあります。

この様な緊迫した内外情勢に対しても戦後体制の軛から自由になれないわが国の政局は小政治に劣化して、安倍政権の安易な改憲現実方針に集約されるが如く独立主権国家

の気概などとは無縁な国家運営としか言ひ様がありませぬ。

情報空間においては良くも悪くもインターネット・SNSなどが世界や社会を席捲してをり、同時に人工知能や脱石油の電気自動車化などの産業社会構造の変化の波が押し寄せてをります。

かかる激動の時代状況の中で維新の道・新風はこの数年地方組織が退潮してをり、それは東京を始めとする都市部においても同様です。

結党以来、思潮傾向や人脈的にも多少重なり合ふ党派が幾つも生まれては消滅して来た中で、戦後体制打破を真正面から掲げる政党は退潮気味とは言へ今や維新の道・新風のみなのです。

改めて全国的に組織を再建し活力を取り戻して、平成三十一年参議院選挙において五度目の比例代表に挑戦し、中断してある自立的政治勢力への道を前進して行かねばならない時機です。

そのためには維新の道・新風の組織活動の基本認識を再確認しておく必要がありますので、次に記しておきます。

昭和二十一年内閣訓令の現代仮名遣は語義語法上欠陥が多く、我が国の文化伝統の上に大きな断絶をもたらしました。

先人の言葉に習ひ、文化伝統の維持発展に寄与します。

本紙の仮名遣について

本紙は歴史的仮名遣で編輯してをります。歴史的仮名遣は先人が知恵を絞つて完成した仮名遣です。

昭和二十一年内閣訓令の現代仮名遣は語義語法上欠陥が多く、我が国の文化伝統の上に大きな断絶をもたらしました。

先人の言葉に習ひ、文化伝統の維持発展に寄与します。

- 『新風』活動の基本認識
- (1) 政治勢力とは中核に政党を有し、その周辺に多様な外郭活動体(国民運動体等)や各種業界団体などを配するものである。
 - (2) 国民運動団体とは、完結した政治組織ではなく、当該団体設立の目的を議会(国会・地方議会・官庁)に実現して貰ふための交渉団体であり、そのための諸活動を日常的に実行する組織である。
 - (3) 業界団体とは、各種産業・職業の業界団体であり、その業界の発展育成のために、政界・官界に対して様々な要望・要請活動を行ふものである。敢くまでも業界の利益が前提であり、政党に対しては最も当該業界に協力してくれるところを支持するものであり、政権党との協力関係が強くなるのは当然である。
 - (4) 国民運動団体には明確な帰属政党が存在する場合(表面的に意志表明するかどうかは別)と、当該団体の目的の実現のため複数政党に影響力行使しようとする場合がある。後者の場合は目的の実現後は解散となるが、前者は政党の別働隊といふ性格上、取り組み課題を變更しながら永続的に活動して行く場合が多い。
 - (5) 現状の反左翼的国民運動団体の多くは(自民党の外郭団体以外で)自らの組織性格を明確に規定せず、不偏不党といふ曖昧な立場を表明する場合が多いが、それは当該団体の目的実現のための戦略が不鮮明である。

新風驟雨

しんぷうしゅう

▼我国には明治の開国以後、外国の艦船が入港するやうになつた。明治十九年、清国の軍艦二隻が佐世保港にやつてきた時、その水兵達は乱暴を働き日本の警察官が殺害された。然しまだ国力の弱かつた我が政府は抗議も出来ず、只早く出航を願ふばかりだつた。▼その後憲法が制定され、教育勅語が下されて国の礎は着々と固つた。▼明治二十四年、シベリア鉄道が開通すると、ロシアは朝鮮はその地理的位置からしても、又政治的意味からしても当然ロシアの領土である。朝鮮を占領した次は全日本を占領し、総督府を東京に置くと言明した。然し国力を弱くした日本は日清戦争に大勝し、台湾や遼東半島などを割譲させた。それに対しロシア・フランス・ドイツは干渉して之を返還させたのである。日本は涙を飲んで受け入れるしかなかつた。▼すると朝鮮は、日本によつて独立をしたにも拘らず、今度はロシアに寄り添つたのだが、ロシアは韓国に対して横暴であつた。それで韓国の民間団体・一進會が立ち上がった。彼等は日本こそが韓国を救ふ唯一の国であるとして、李完用と共に日韓合邦を推し進め、日露戦争に勝利した日本と共に歩む事になつたのだ。▼我国にとつて韓国は重い荷物だつた。然し我先人達は涙ぐましい努力でこの未開の国を導いた。臭い、汚い、短命、これを僅か三十五年で綺麗にし、人口を増やして寿命も倍近くまで延ばした。私達はこの先人の偉業を称賛しなければならぬ。

本紙目次

一頁：とりもどせ国家の誇りと日本のくらし

二頁：結党宣言 他